

ひがしはら

平成27年1月28日
学校だより 第9号
杉並区立東原中学校

“次なる目標につながる学期”

校長 渡辺 宏

“新年あけましておめでとうございます”という挨拶を全校生徒に始業式で交わして1月が過ぎようとしています。

保護者や地域の皆さまには、平成26年同様に今年もよろしくお願ひ申し上げます。

1月8日(木)には、第3学期の始業式を行うことができました。冬休み中には、大きな事故も無くご家庭のご支援に大変感謝いたします。

例年、この時期の体育館は大変に寒い状況です。式が始まる時間が近づくと、久しぶりに友達と顔を合わせ、話したいことが沢山あるのですが、自ら話を止め、始業式を作り上げようとするモードに切り替わり、どの生徒も私の話をしっかり立派な態度で聞いておりました。

生徒の健康状態等を考慮しながら校長として話す内容を考えていますが、どの生徒もステージの上で話す私の方に向かって顔を向け、目を合わせながら気持ちの交換ができました。このような生徒たちのけじめのある姿勢により、2週間ぶりに会っても時間の経過を全く感じることなく3学期をスタートさせることができました。

3年生は受験という、進路決定のための大きな壁に挑み乗り越えなければなりません。私立高校の推薦入試を皮切りに、都立高校の推薦入試の順で受験が本格化します。本校では今年も、“良い結果を出してもらいたい”と全校を挙げて応援します。伝統になりつつある、1・2年生一人一人が心をこめて作成した“受験応援メッセージ”は、1月20日(火)に学級代表の生徒が3年生の各クラスに届けてくれました。後輩の心のこもったメッセージに勇気づけられた人が多かったことでしょう。

1・2年生にとっての3学期は、約3カ月と短い時間ではありますが4月から始まる新しい学年に向けてまとめと次への準備に取り組まなくてはならない大切な期間です。

2年生は1月27日(火)～30日(金)まで、菅平高原で行われる移動教室に出掛けます。どの生徒も、不安もありますが楽しみで大きく胸を膨らませています。実行委員は、**一歩前進～仲間と共に～**をスローガンに、「この移動教室は修学旅行につながる大切なもの。一人一人が自覚と責任をもち、みんなで協力し合って成功させよう。」と、意欲的に取り組んできました。

1年生は“**～3学期＝0学期～**”を学校生活の柱として、“**上級生になるための心の準備**”を整える期間となります。“**自分たちの背中で中学校生活を教えた**い”と、4月より入学してくる新1年生を意識してくれています。大きな成長を感じます。

ご家庭・地域の大きなご支援をいただきたく、3学期もよろしくお願ひいたします。



“優れた作品が学校を代表して展示されました！”～区書き初め展覧会より～

杉並区立中学校書き初め展覧会が、1月17日(土)～23日(金)に杉並区役所1階ロビーで開催されました。冬休み中に頑張って仕上げた作品の中から、6人のすばらしい作品が展示されました。

3年 浅倉 茉鈴 西川 亜衣 出崎 真衣
2年 谷口 佳菜子 矢作 花奈
1年 岩崎 玲於奈



“日頃の練習の成果が発揮されました！”～新年の吹奏楽部の活動～

吹奏楽部は、毎日「仲良く、美しく、愛をこめて」をモットーに楽しく練習を重ねています。1月17日(土)に杉並公会堂において杉並区立中学校ウィンターコンサートが開催され、その翌日の18日(日)には本校多目的室での新春演奏会が盛大に行われました。また、翌週の25日(日)は、アンサンブルコンテストが行われ、A・B部門で銀賞のダブル受賞となりました。練習と発表会を積み重ねて、着実に演奏に磨きがかかっています。



“新春の恒例行事で盛り上がる！”～東原百人一首大会～

1月10日(土)の土曜授業では、3年生は特活室で、1、2年生は体育館で、百人一首大会を行いました。写真の札の絵は、1年生が美術の授業で学習し、冬休みの宿題として制作しました。当日は体育館の壁に貼り、雰囲気盛り上げてくれました。最近は電子ゲーム機器を使って遊ぶことが多くなりましたが、昔から引き継がれている日本の伝統文化を楽しむ1日となりました。



“鰯を下ろしてみよう！”～家庭科調理実習を通して食育を学ぶ～



授業では、単に知識を身に付けるだけでなく、実習から技能を学び活用できるような展開を工夫しています。2年生の家庭科の調理実習では、食育の取り組みのサポートとして食育漁港漁場漁村技術研究所から新鮮な大量の魚（静岡産の鰯）を提供していただきました。魚を手開きし、皮を剥いたらミンチにしてつみれ汁のできあがりです。冷たい水に手を入れて、生の魚の内臓をていねいに取り除くのが大変そうでした。美味しいものを作るための苦労が実感できました。